

図画工作 I		半 直哉	
・授業の概要 ・履修上の注意事項 ・課題、試験についてのフィードバック、振り返りについて			
<p>この授業の目的は、「つくる」「かく」を中心とした造形活動の魅力の再発見である。そして、保育内容を理解し実践していくための平面的な造形の基本的な知識や技能の習得をめざす。具体的には、用具の基本的な使い方を理解し、ペーパークラフトの技法を身に着ける。既習内容を生かし学習記録としてSCRAP BOOKの製作に取り組む。また、絵の具やパスなどの描く領域の用具の使い方を理解し、紙版画の指導法を学ぶ。</p> <p>課題についての振り返り、フィードバックについては、各時間において相互評価をしながら、解説を加える。試験終了後、全授業の振り返りを行う。</p> <p>※実務教員による授業科目。担当者は、長年小学校の教育現場で教諭として勤務し、特に、図画工作科の指導法や教材開発等の研究・実践を行ってきた。受講者は、学習成果に挙げている造形領域における「保育者としての専門的な知識・技能」を現場に即した内容で獲得することができる。</p>			
授業内容・計画			実施日
1	CCE授業とGSSHK解説、教室や用具の使い方(のり、ハサミ、パス等)	月 日	出・欠
2	SCRAP BOOKの製作(手作り絵本の製法)	月 日	出・欠
3	ペーパークラフト①(切り紙・五弁の花弁)	月 日	出・欠
4	ペーパークラフト②(切り紙・三弁、四弁の花弁)	月 日	出・欠
5	ペーパークラフト③(切り紙・雪の結晶)	月 日	出・欠
6	ペーパークラフト④(切り紙・シンメトリー)	月 日	出・欠
7	ペーパークラフト⑤(紙レリーフ)	月 日	出・欠
8	ペーパークラフト⑥(カードの工夫、ハニカム紙の活用)	月 日	出・欠
9	ペーパークラフト⑦(ポップアップカード)	月 日	出・欠
10	ペーパークラフト⑧(子どもと楽しむ折り紙その1)	月 日	出・欠
11	ペーパークラフト⑨(子どもと楽しむ折り紙その2)	月 日	出・欠
12	描く領域の用具とその使い方①(パス、絵の具、水性ペンの活用等)	月 日	出・欠
13	描く領域の用具とその使い方②(色の三原色、紙染め等)	月 日	出・欠
14	版画①(幼児向け紙版画の技法①)	月 日	出・欠
15	版画②(幼児向け紙版画の技法②、ローラーで遊ぼう)	月 日	出・欠
予習・復習【学習時間の目安】		成績評価の方法・基準	
・SCRAP BOOKのノート整理【1時間/週】		学習態度30%、SCRAP BOOKの提出と完成度60%、実技試験10%、合計100%	
テキスト・参考文献・持参物・検定料等			
【参考文献】 花篤 實・岡田愨吾『新造形表現 実技編』三晃書房 【持参物】 赤ペン、液状のり、両面テープ等、毎回持参のこと			

図画工作Ⅱ		半 直哉		
・授業の概要 ・履修上の注意事項 ・課題、試験についてのフィードバック、振り返りについて				
<p>図画工作Ⅰに引き続き、この授業の目的は、「つくる」「かく」を中心とした造形活動の魅力の再発見である。そして、保育内容を理解し実践していくための立体的な造形の基本的な知識や技能の習得をめざす。造形遊びや具体的な素材を使った手作りおもちゃの製作活動を通して、幼児の遊びと造形表現との結びつきとの理解を図っていく。課題に対して主体的にかかわりあいながら表現することの楽しさを体感し、授業で学んだことを「授業記録」ファイルとしてまとめる。</p> <p>課題についての振り返り、フィードバックについては、各時間において相互評価をしながら、解説を加える。試験終了後、全授業の振り返りを行う。</p> <p>※実務教員による授業科目。担当者は、長年小学校の教育現場で教諭として勤務し、特に、図画工作科の指導法や教材開発等の研究・実践を行ってきた。受講者は、学習成果に挙げている造形領域における「保育者としての専門的な知識・技能」を現場に即した内容で獲得することができる。</p>				
授業内容・計画			実施日	出欠
1	オリエンテーションとビデオ視聴による遊びと幼児造形理論学習	月 日	出・欠	
2	造形遊びの理論と実際①(新聞紙をつかった造形遊び)	月 日	出・欠	
3	造形遊びの理論と実際②(新聞紙をつかった造形遊び)	月 日	出・欠	
4	造形遊びの理論と実際③(紙コップを使った造形遊び)	月 日	出・欠	
5	造形遊びの理論と実際④(カプラを使った造形遊び)	月 日	出・欠	
6	造形遊びの理論と実際⑤(カプラを使った造形遊び)	月 日	出・欠	
7	木工遊び(釘うちと木工製作)	月 日	出・欠	
8	イラスト、スケッチ	月 日	出・欠	
9	素材別手作りおもちゃの製作①(手作りおもちゃの製作意義、ビニール、紙コップ編)	月 日	出・欠	
10	素材別手作りおもちゃの製作②(紙皿、紙コップ編)	月 日	出・欠	
11	素材別手作りおもちゃの製作③(牛乳パック編1)	月 日	出・欠	
12	素材別手作りおもちゃの製作④(牛乳パック編2)	月 日	出・欠	
13	素材別手作りおもちゃの製作⑤(毛糸編)	月 日	出・欠	
14	素材別手作りおもちゃの製作⑥(菓子箱編)	月 日	出・欠	
15	自作の幼児向けおもちゃの発表会	月 日	出・欠	
予習・復習【学習時間の目安】		成績評価の方法・基準		
<ul style="list-style-type: none"> ・授業記録ファイルの整理【30分～1時間／週】 ・幼児向けおもちゃの製作【30分～1時間／週】 		学習態度30%、授業記録ファイルの提出と完成度30%、幼児向けおもちゃの提出と完成度(課題発表会后、解説)30%、実技試験10%、合計100%		
テキスト・参考文献・持参物・検定料等				
<p>【参考文献】 花篤 實・岡田愨吾『新造形表現 実技編』三晃書房</p> <p>【持参物】 赤ペン、液状のり、両面テープ等、毎回持参のこと</p>				

授業科目名		担当者	
情報処理演習 I		竹野 博信	
<p>・授業の概要 ・履修上の注意事項 ・課題、試験についてのフィードバック、振り返りについて</p>			
<p>・本授業では日本語文書処理ソフト(マイクロソフトワード)を使用して、情報機器の操作技能や表現力を養う。保育現場で必要となる文書作成能力に付けることを目指していく。基礎から操作・機能を身に付けていくが、クラスだよりや行事案内プリントなどを作成しながら具体例を作成しながら効果的な操作・機能へと段階を踏んで授業を進めていく。また、ネットワーク社会における情報モラルについて、事例を取り上げながら理解を深めていく。</p> <p>・履修上の注意事項として、タイピング練習を求めたい。クラスだよりなど文章の入力が多くなるため、10分間に300字以上の文字入力ができることを目標としてほしい。</p> <p>・課題、試験についての振り返り、フィードバックについては、適宜解説を行う。また試験終了後、解説を行う。試験答案の返却については授業の中で指示する。</p> <p>※実務教員による授業科目。担当者はIT関連企業の勤務経験があり、初級システムアドミニストレータほかコンピュータに関するさまざまな資格を取得しており、その経験と資格を生かして本授業を担当し、受講者は学習成果に掲げる「保育現場で求められる文書作成能力、情報モラル、Webコミュニケーションのあり方」について獲得・理解することができる。</p>			
授業内容・計画		実施日	出欠
1	オリエンテーション(概要説明、教室ガイダンス、Windows概論)	月 日	出・欠
2	Windows概論(ファイル、フォルダー管理等)	月 日	出・欠
3	Microsoft Word概論(画面構成、文節変換等)	月 日	出・欠
4	編集機能①(ページ設定・配置・書式設定・段落番号と箇条書き等)	月 日	出・欠
5	編集機能②(画像・図形・表の挿入と印刷等)	月 日	出・欠
6	編集機能③(ページ罫線、ワードアート、段組、タブとリーダー等)とビジネス文書の作成	月 日	出・欠
7	保育現場で作成される文書の作成①(園だより)	月 日	出・欠
8	保育現場で作成される文書の作成②(給食だより)	月 日	出・欠
9	保育現場で作成される文書の作成③(運動会プログラム)	月 日	出・欠
10	保育現場で作成される文書の作成④(行事案内プリント)	月 日	出・欠
11	情報モラルと個人情報	月 日	出・欠
12	著作権とプライバシー権	月 日	出・欠
13	ネットワーク社会に潜む危険と対策	月 日	出・欠
14	Webコミュニケーションのあり方(SNSを中心に)	月 日	出・欠
15	まとめ	月 日	出・欠
予習・復習【学習時間の目安】		成績評価の方法・基準	
<p>・タイピング練習を行う【30分/週】</p> <p>・課題に取り組む【30分/週】</p>		<p>定期試験(試験60分・解説30分)50%、 課題(提出後、解説30分)30%、受講態度20%、 合計100%</p>	
テキスト・参考文献・持参物・検定料等			
<p>【テキスト】『情報リテラシー入門編 Windows 10 Office 2016 対応』FOM出版</p> <p>【参考文献】『保育者のためのパソコン講座』萌文書林、『情報処理テキスト～幼稚園・保育所の保育実践とメディアの活用～』みるめ書房、『30時間でマスター Windows8対応 Office2013』実教出版</p> <p>【持参物】 筆記具、ノート</p>			

授業科目名		担当者	
情報処理演習Ⅱ		竹野 博信	
<p>・授業の概要 ・履修上の注意事項 ・課題、試験についてのフィードバック、振り返りについて</p>			
<p>・表計算ソフト(マイクロソフトエクセル)を使用して、計算式、関数式を使った表の作成方法やグラフ作成、データ活用などの基本操作の習得を目指す。それを踏まえて園児名簿やカレンダーなど実務に利用できる実例を作成しながら活用方法について理解を深めていく。また、プレゼンテーションソフト(マイクロソフトパワーポイント)の基本操作の習得を目指す。</p> <p>・履修上の注意事項としては、数学の基礎と文章読解力を求めたい。授業では文章から関数式を作ることが必要となるためである。</p> <p>・課題についての振り返り、フィードバックについて、適宜解説を行う。試験終了後、解説を行う。答案の返却については授業の中で指示する。</p> <p>※実務教員による授業科目。担当者はIT関連企業の勤務経験があり、初級システムアドミニストレータほかコンピュータに関するさまざまな資格を取得しており、その経験と資格を生かして本授業を担当し、受講者は学習成果に掲げる「保育現場で求められる文書作成能力、情報モラル、Webコミュニケーションのあり方」について獲得・理解することができる。</p>			
授業内容・計画		実施日	出欠
1	Microsoft Excel概論(画面構成、ワークシートとブック、データ入力と表作成、四則演算等)	月 日	出・欠
2	表編集①(書式設定、相対参照と絶対参照、書式のコピー、印刷等)	月 日	出・欠
3	表編集②(グラフ作成と編集、データベース機能等)	月 日	出・欠
4	表編集③(複数のシート間操作、Word文書へのExcelデータ活用等)	月 日	出・欠
5	関数の利用①(IF関数)	月 日	出・欠
6	関数の利用②(RANK.EQ関数、VLOOKUP関数)	月 日	出・欠
7	関数の利用③(COUNTIF関数、SUMIF関数)	月 日	出・欠
8	便利な機能(セルの参照、文字列の結合、条件付き書式、並べ替えとオートフィルタ等)	月 日	出・欠
9	保育現場で使える表の作成①(給食だよりとカレンダー)	月 日	出・欠
10	保育現場で使える表の作成②(園児名簿の作成①:生年月日から満年齢を求める等)	月 日	出・欠
11	保育現場で使える表の作成③(園児名簿の作成②:データの入力規制を使う等)	月 日	出・欠
12	Microsoft Power Point概論(画面構成、スライドとプレースホルダー、テキスト入力等)	月 日	出・欠
13	スライド編集①(箇条書きテキスト、図形、表、グラフの挿入等)	月 日	出・欠
14	スライド編集②(画面切り替え効果、アニメーション効果の設定等)	月 日	出・欠
15	スライド出力(印刷、配布資料出力等)とプレゼンテーションの基本	月 日	出・欠
予習・復習【学習時間の目安】		成績評価の方法・基準	
<p>・課題に取り組む【30分/週】</p> <p>・スキルアップ問題に取り組む【30分/週】</p>		<p>定期試験(試験60分・解説30分)50%、 課題(提出後、解説30分)30%、受講態度20%、 合計100%</p>	
テキスト・参考文献・持参物・検定料等			
<p>【テキスト】『情報リテラシー入門編 Windows 10 Office 2016 対応』FOM出版</p> <p>【参考文献】『保育者のためのパソコン講座』萌文書林、『情報処理テキスト～幼稚園・保育所の保育実践とメディアの活用～』みるめ書房、『30時間でマスターWindows8対応 Office2013』実教出版</p> <p>【持参物】 筆記具、ノート</p>			

授業科目名		担当者		
教育実習事前事後指導		佐々木 和美		
・授業の概要 ・履修上の注意事項 ・課題、試験についてのフィードバック、振り返りについて				
<p>・教育実習に臨むために必要な知識・技能・態度を習得する。教育実習Ⅰでは本学指定幼稚園、教育実習Ⅱ・Ⅲでは希望幼稚園で実習を行う。これらの実習を通して基本的な子ども観・保育観を具体的に身に付け、幼稚園教諭としての資質・能力を養う。そのために実習マナーをはじめ、実習の心得、実習日誌、指導案、保育実技(手遊び、絵本の読み聞かせ、ピアノの弾き歌い等)等の指導に重点を置く。</p> <p>・履修上の注意事項</p> <p>1.課題レポートの未提出や授業欠席の多い学生、著しく実習マナーを欠くと思える学生は実習に行けない。</p> <p>2.実習後、評価によって個別指導を行う。</p> <p>3.原則、教育実習Ⅲと連動して単位を認定する。</p> <p>・課題、試験についてのフィードバック、振り返りについては、各実習終了後自己評価を行い、実習先の評価と照らし合わせ、PDCAサイクルを実施している。また定期試験終了後、解答の解説を行う。</p> <p>※実務教員による授業科目。担当者は幼稚園に長年勤務し、その経験を生かして本授業を担当し、受講者は学習成果に掲げる「保育者としての専門的な知識と技能。保育現場で活かす実践力」を獲得することができる。</p>				
授業内容・計画			実施日	出欠
1	教育実習の意義と心得 ー本学の実習計画と実習内容、実習生の心得と実習マナーー		月 日	出・欠
2	幼稚園観察・見学実習・・・幼稚園の実態を理解し、今後の学習や実習に備える		月 日	出・欠
3	幼稚園の役割と機能、活動内容・・・幼稚園教育の目標と内容、様々な保育活動について		月 日	出・欠
4	実習の内規と履修資格、実習手続きについて 事前訪問の仕方・・・実習園概要と実習上の注意事項	〈保育技術〉 手遊び歌	月 日	出・欠
5	実習自己課題の立て方・・・実習目標と自己課題の設定 実習日誌の書き方①・・・時系列の記録、考察の方法について	〈保育技術〉 手遊び歌	月 日	出・欠
6	教育実習Ⅰに向けて①・・・心得、マナー、確認事項等 実習日誌の書き方①・・・見学・観察・参加実習の記録のとり方	〈保育技術〉 手遊び歌	月 日	出・欠
7	教育実習Ⅰ後グループ討議、自己評価・振り返り、お礼状の書き方について		月 日	出・欠
8	教育実習Ⅱに向けて・・・個人票等必要な提出の書類作成 事前訪問の仕方について②・・・電話の対応の仕方等	〈保育技術〉 模擬保育 朝・帰り	月 日	出・欠
9	実習日誌の書き方②・・・教師の配慮の意図、考察の記録について 指導案の立て方・・・部分実習指導案の立て方	〈保育技術〉 模擬保育 朝・帰り	月 日	出・欠
10	部分案と模擬保育①・・・部分案に基づいた模擬保育のグループワーク	〈保育技術〉 模擬保育 朝・帰り	月 日	出・欠
11	教育実習Ⅱ後のグループ討議、自己評価・振り返り		月 日	出・欠
12	教育実習Ⅲに向けて・・・事前訪問、部分・半日・全日実習等について		月 日	出・欠
13	部分案と模擬保育②・・・部分案に基づいた模擬保育の実践と反省・評価		月 日	出・欠
14	教育実習Ⅲ後のグループ討議、自己評価・振り返り		月 日	出・欠
15	教育実習のまとめ、報告会		月 日	出・欠
予習・復習【学習時間の目安】		成績評価の方法・基準		
<p>・事前にテキストを読み、授業に備える。【30分/週】</p> <p>・保育実技(絵本の読み聞かせ、手遊び、ピアノの弾き歌い)などを練習しておく。【30分/週】</p>		<p>授業態度30%、レポート・課題提出30%、 定期試験40%、合計100% ※定期試験は、1年次・2年次の後期に実施します。</p>		
テキスト・参考文献・持参物・検定料等				
<p>【テキスト】 2年生『平成30年度実習の手引き』 1年生『2019年度実習の手続き』岩国短期大学実習委員会編 『実習日誌・実習指導案パーフェクトガイド』『保育の基本用語』わかば社 『幼稚園教育要領解説』文部科学省フレーベル館 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』内閣府文部科学省厚生労働省フレーベル館 その他、適宜資料を配付する。</p> <p>【持参物】 筆記用具、テキスト、ファイル</p>				

授業科目名		担当者		
保育実習指導 I (保育所)		佐々木 和美		
<p>・授業の概要 ・履修上の注意事項 ・課題、試験についてのフィードバック、振り返りについて</p>				
<p>保育実習 I を踏まえ、ここでは更に総合的な学びを深める。子どもの最善の利益を考慮した保育、保護者支援への理解を深め、子どもの状態に応じた適切なかかわり、保育の技術を生かした保育実践力を高めるための学習をし、保育士の専門性と職業倫理について理解する。事後指導では、実習の総括と自己評価を行い、保育に対する課題や認識を明確にしていく。</p> <p><注意事項></p> <p>1. 課題レポートの未提出や授業欠席の多い学生、著しく実習マナーを欠くと思える学生は実習に行けません。</p> <p>2. 実習後、評価によっては、個別指導を行う。</p> <p>3. 原則、保育実習 II と連動して単位を認定する。</p> <p>※実務教員による授業科目。担当者は幼稚園に長年勤務し、その経験を生かして本授業を担当し、受講者は学習成果に掲げる「保育者としての専門的な知識と技能。保育現場で活かす実践力」を獲得することができる。</p>				
授業内容・計画			実施日	出欠
1	実習指導のオリエンテーション、実習の心得・マナーについて		月 日	出・欠
2	保育実習の意義と目的、名札作り	<保育技術> 絵本の読み聞かせ	月 日	出・欠
3	保育所保育の特徴・・・幼稚園と保育所、認定こども園の特性を理解する。	<保育技術> 絵本の読み聞かせ	月 日	出・欠
4	保育所見学実習のあり方、記録の書き方・・・見学実習の概要とレポートの書き方	<保育技術> 絵本の読み聞かせ	月 日	出・欠
5	保育所見学実習①・・・保育所の実態を理解する。		月 日	出・欠
6	保育所見学実習②・・・乳幼児と関わり、発達段階を理解する。		月 日	出・欠
7	保育所見学実習③・・・保育士の乳幼児へ援助の仕方を観察し、理解する。		月 日	出・欠
8	保育所見学実習④・・・保育所の機能、保育士の役割を理解し、今後の実習に備える。		月 日	出・欠
9	保育所見学実習の振り返り、グループでの話し合い		月 日	出・欠
10	実習手続きと実習園の決定・・・希望実習園への依頼、訪問の仕方を理解する。		月 日	出・欠
11	保育実習 I (保育所)との概要・・・実習の内容、留意点、一日の生活の流れと保育内容を理解する。	<保育技術> 部分実習(朝・帰り)	月 日	出・欠
12	保育実習 I (保育所)のねらいと実習自己課題	<保育技術> 部分実習(朝・帰り)	月 日	出・欠
13	部分実習の立案と模擬保育	<保育技術> 部分実習(朝・帰り)	月 日	出・欠
14	保育実習 I 事後指導・・・保育実習を振り返り、保育実習 II に向けての課題を明確にする。		月 日	出・欠
15	自己評価を行う・・・評価票に基づき、自己評価を行い実習を振り返る。		月 日	出・欠
予習・復習【学習時間の目安】		成績評価の方法・基準		
<p>・事前にテキストを読み、授業に備える。【30分/週】</p> <p>・保育実技(絵本の読み聞かせ、手遊び、ピアノの弾き歌い)などを練習しておく。【30分/週】</p>		<p>授業態度30%、レポート・課題提出30%、定期試験40%、合計100%</p> <p>※定期試験は、1年次・2年次の後期に実施します。</p>		
テキスト・参考文献・持参物・検定料等				
<p>【テキスト】 2年生『平成30年度実習の手引き』1年生『2019年度実習の手引き』岩国短期大学実習委員会編 『実習日誌・実習指導案パーフェクトガイド』『保育の基本用語』わかば社 『幼稚園教育要領解説』文部科学省フレーベル館 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』内閣府文部科学省厚生労働省フレーベル館 その他、適宜資料を配付する。</p> <p>【持参物】 筆記用具、テキスト、ファイル</p>				

授業科目名		担当者		
保育実習指導Ⅱ		佐々木 和美		
<p>・授業の概要 ・履修上の注意事項 ・課題、試験についてのフィードバック、振り返りについて</p>				
<p>保育実習Ⅰを踏まえ、ここでは更に総合的な学びを深める。子どもの最善の利益を考慮した保育、保護者支援への理解を深め、子どもの状態に応じた適切なかかわり、保育の技術を生かした保育実践力を高めるための学習をし、保育士の専門性と職業倫理について理解する。事後指導では、実習の総括と自己評価を行い、保育に対する課題や認識を明確にしていく。</p> <p><注意事項></p> <p>1. 課題レポートの未提出や授業欠席の多い学生、著しく実習マナーを欠くと思える学生は実習に行けません。</p> <p>2. 実習後、評価によっては、個別指導を行う。</p> <p>3. 原則、保育実習Ⅱと連動して単位を認定する。</p> <p>※実務教員による授業科目。担当者は幼稚園に長年勤務し、その経験を生かして本授業を担当し、受講者は学習成果に掲げる「保育者としての専門的な知識と技能。保育現場で活かす実践力」を獲得することができる。</p>				
授業内容・計画			実施日	出欠
1	保育士の役割について・・・子どもの最善の利益、子育て支援等について理解する。		月 日	出・欠
2	保育実践力の育成・・・0～2歳児への適切なかかわり方	<保育技術> 部分実習(朝・帰り)	月 日	出・欠
3	保育実践力の育成・・・3～5歳児への適切なかかわり方	<保育技術> 部分実習(朝・帰り)	月 日	出・欠
4	指導案の立て方①・・・部分案作成上のポイント	<保育技術> 部分実習(朝・帰り)	月 日	出・欠
5	指導案の立て方②・・・半日、全日案作成上のポイント	<保育技術> 部分実習(朝・帰り)	月 日	出・欠
6	部分案と模擬保育		月 日	出・欠
7	部分案と模擬保育		月 日	出・欠
8	模擬保育全体研修会		月 日	出・欠
9	実習の終了報告とお礼状の書き方について		月 日	出・欠
10	実習の自己評価を行う・・・評価票に基づき実習を振り返り、反省と評価を行う		月 日	出・欠
11	実習後のグループでの話し合い、報告会・・・学んだことやこれからの課題を話し合う		月 日	出・欠
12	まとめ①・・・合同授業への取り組み(ポスター制作)		月 日	出・欠
13	まとめ②・・・合同授業への取り組み(グループワーク)		月 日	出・欠
14	1年生との合同授業		月 日	出・欠
15	実習の総括と課題の明確化		月 日	出・欠
予習・復習【学習時間の目安】		成績評価の方法・基準		
<p>・事前にテキストを読み、授業に備える。【30分/週】</p> <p>・保育実技(絵本の読み聞かせ、手遊び、ピアノの弾き歌い)などを練習しておく。【30分/週】</p>		<p>授業態度30%、レポート・課題提出30%、定期試験40%、合計100%</p> <p>※定期試験は、2年次の後期に実施します。</p>		
テキスト・参考文献・持参物・検定料等				
<p>【テキスト】『平成30年度実習の手引き』岩国短期大学実習委員会編 『実習日誌・実習指導案パーフェクトガイド』『保育の基本用語』わかば社 『幼稚園教育要領解説』文部科学省フレーベル館 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』内閣府文部科学省厚生労働省フレーベル館 その他、適宜資料を配付する。</p> <p>【持参物】 筆記用具、テキスト、ファイル</p>				

授業科目名		担当者		
体育理論		水鶏口 陽一		
<p>・授業の概要 ・履修上の注意事項 ・課題、試験についてのフィードバック、振り返りについて</p>				
<p>・生涯にわたって豊かなスポーツライフを送るためには、運動やスポーツについての幅広い知識を身に付けておくことが必要になる。しかし、現代の社会は、それに逆行し科学技術の飛躍的な発展などにより、生活が便利になり、体を動かす機会を減少させる状況である。</p> <p>本講義では、身体運動と健康の関係を運動生理学やスポーツ科学から考え、生涯スポーツにおける身体運動と健康の関連において、健康寿命を延ばす手立てとして大切なことを学ぶ。また、幼児期において、遊びを中心とする身体運動を十分に行うことによる効果や期待に触れ、保育者としての身体運動の意味と意義を考えたい。</p> <p>・安全面の配慮や怪我の対処の仕方、応急処置などの基本を身に付けることは、必ず覚えて実践していかなければならないので、授業中メモを取るなど心がけること。</p> <p>・課題についてのフィードバックは提出後、試験内容のフィードバックは、試験終了後に解説を行う。</p> <p>※実務教員による授業科目。担当者は、元中学校保健体育教諭であり、その経験を生かして受講者は「他者との円滑なコミュニケーションを図りながら、問題を解決することができる」を獲得することができる。</p>				
授業内容・計画			実施日	出欠
1	オリエンテーション、身体運動の意味と意義	月 日	出・欠	
2	身体運動と健康①（健康と体力、高齢化社会の健康問題について）	月 日	出・欠	
3	身体運動と健康②（地球環境・生命論理、発育と発達について）	月 日	出・欠	
4	運動生理学①（筋・呼吸循環器について）	月 日	出・欠	
5	運動生理学②（脳・神経について）	月 日	出・欠	
6	スポーツ医学①（生活習慣病とスポーツ医学について）	月 日	出・欠	
7	スポーツ医学②（肥満と食生活、運動と健康について）	月 日	出・欠	
8	幼児を取り巻く社会の現状と課題	月 日	出・欠	
9	幼児期における身体運動の意義	月 日	出・欠	
10	幼児期の身体運動の在り方	月 日	出・欠	
11	幼児の身体運動能力の測定①(測定内容とその意義)	月 日	出・欠	
12	幼児の身体運動能力の測定②(実践と測定結果)	月 日	出・欠	
13	救急法と怪我の応急処置	月 日	出・欠	
14	安全面の配慮	月 日	出・欠	
15	学習内容についてのまとめと定期試験対策	月 日	出・欠	
予習・復習【学習時間の目安】		成績評価の方法・基準		
<p>・一週間に3日以上(一日1時間以上)の運動をするよう心がける【4時間/週】</p> <p>・健康的な生活習慣や運動習慣を身に付ける【日々を通して】</p>		<p>受講態度30%、課題10%</p> <p>定期試験(試験60分・解説30分)60%、</p> <p>合計100%</p>		
テキスト・参考文献・持参物・検定料等				
<p>【テキスト】必要に応じて、資料配布または資料を紹介する。</p> <p>【参考文献】東京大学身体運動科学研究室編『教養としての身体運動』東京大学出版会</p> <p>幼児期運動指針策定委員会『幼児期運動指針』文部科学省</p>				

授業科目名		担当者				
音楽 I		井上美佳・川畑由紀子・竹内佳代・中村桂子・東尚子				
・授業の概要 ・履修上の注意事項 ・課題、試験についてのフィードバック、振り返りについて						
第1講・第4講・第9講・第13講・・・合同授業 場所; 音楽室 到達目標; 子どもの歌を60曲以上知り、楽典の基礎を理解する。						
第2講・第3講・第5講・第6講・第7講・第8講・第10講・第11講・第12講・第14講・第15講・・・グループレッスン 個人に合わせた実技指導						
場所; 井上・中村→ML演習室 川畑→レッスン室1・2 竹内→レッスン室3・4 東→レッスン室5・6						
到達目標; 井上・中村グループ・・・両手奏でピアノ曲1曲が弾けるようになり、両手奏での弾き歌いレパートリー10曲以上ある。						
到達目標; 川畑グループ・・・試験でバイエル78番が弾け、弾き歌いレパートリーが15曲以上ある。						
到達目標; 竹内グループ・・・試験でバイエル100番が弾け、弾き歌いレパートリーが40曲以上ある。						
到達目標; 東グループ・・・試験でバイエル100番が弾け、弾き歌いレパートリーが49曲以上ある。						
※実務教員による授業科目。担当者井上美佳は元中学校教諭であり、その経験を生かして本授業を担当し、受講者は学習成果に掲げる「音楽の基本的な技能を身につけ豊かに表現することができる」を獲得することができる。						
授業内容・計画(井上・中村)	授業内容・計画(川畑)	授業内容・計画(竹内)	授業内容・計画(東)	実施日	出欠	
1	オリエンテーション(合同・音楽室)課題リストについて・音楽 I の授業形態について・楽典①(音・音名・楽譜・音符休符)			月 日	出・欠	
2	基礎技法 カエルの合唱	ピアノテキスト1～7 メロディー奏5曲	ピアノテキスト1～10 春の曲5曲	ピアノテキスト1～10 春の曲5曲	月 日	出・欠
3	基礎技法 刈りさんのひつじ	ピアノテキスト8・9 メロディー奏5曲	ピアノテキスト15・16 春の曲5曲	ピアノテキスト15・16・17 夏の曲5曲	月 日	出・欠
4	(合同・音楽室)音名チェックテスト・楽典②(リズム・ビート・拍子)・春の歌・夏の歌			月 日	出・欠	
5	ピアノテキスト1～5 メロディー奏5曲	ピアノテキスト10 メロディー奏6曲	ピアノテキスト17・19 夏の曲5曲	ピアノテキスト19・29 秋の曲5曲	月 日	出・欠
6	ピアノテキスト6・7 メロディー奏5曲	ピアノテキスト15 両手奏・2曲	ピアノテキスト29 夏の曲5曲	ピアノテキスト34 冬の曲5曲	月 日	出・欠
7	ピアノテキスト8・9 メロディー奏6曲	ピアノテキスト16 両手奏・2曲	ピアノテキスト34 秋の曲5曲	ピアノテキスト39 生活の歌5曲	月 日	出・欠
8	ピアノテキスト10 両手奏2曲	ピアノテキスト17 両手奏・2曲	ピアノテキスト39 秋の曲5曲	ピアノテキスト44 子どもの好きな歌5曲	月 日	出・欠
9	(合同・音楽室)音名チェックテスト・楽典③(音程・音階・調)・秋の歌・冬の歌			月 日	出・欠	
10	ピアノテキスト15 両手奏2曲	ピアノテキスト19 春の曲2曲	ピアノテキスト44 冬の曲5曲	ピアノテキスト46 子どもの好きな歌5曲	月 日	出・欠
11	ピアノテキスト16 両手奏2曲	ピアノテキスト29 夏の曲2曲	ピアノテキスト46 冬の曲5曲	バイエルNo.100 春・夏の曲5曲	月 日	出・欠
12	ピアノテキスト17 両手奏2曲	ピアノテキスト34 秋の曲2曲	バイエルNo.100 春・夏の曲5曲	バイエルNo.100 秋・冬の曲5曲	月 日	出・欠
13	(合同・音楽室)プレ楽典試験・解説・弾き歌い60曲			月 日	出・欠	
14	ピアノテキスト17 両手奏2曲	ピアノテキスト34 冬の曲2曲	バイエルNo.100 秋・冬の曲5曲	バイエルNo.100 子どもの好きな歌5曲	月 日	出・欠
15	ピアノテキスト17 試験対策	ピアノテキスト34 試験対策	バイエルNo.100 試験対策	バイエルNo.100 試験対策	月 日	出・欠
予習・復習【学習時間の目安】			成績評価の方法・基準			
楽典・・・読譜練習1日1分以上、ピアノ実技練習 各自の課題を1日20分以上【120分以上/週】			筆記試験(試験60分・解説30分)・・・楽典・曲名理解 50% 実技試験(1人3分程度)・・・ピアノ曲1曲 15% 弾き歌い1曲 35% (課題リストにてフィードバックを行う) 合計100%			
テキスト・参考文献・持参物・検定料等						
(1) 幼稚園教諭・保育士養成課程 子どものための音楽表現技術 (萌文書林)						
(2) 保育士・幼稚園教諭小学校教諭養成のためのピアノテキスト (カワイ出版)						
(3) 幼児のための音楽教育 (教育芸術社) その他、個人にあった曲・楽譜を適宜指示します。						
【持参物】 ファイル4冊 (弾き歌い用), 岩国短期大学ピアノ課題リスト						

授業科目名		担当者								
音楽Ⅱ		井上美佳・川畑由紀子・竹内佳代・中村桂子・東尚子								
・授業の概要		・履修上の注意事項		・課題、試験についてのフィードバック、振り返りについて						
<p>第2講・第5講・第8講・第9講・第10講・・・合同授業 場所;音楽室 到達目標;楽典(コード)を理解する。楽器の演奏方法や取扱いを知り、合奏を楽しむ。</p> <p>第1講・第3講・第4講・第6講・第7講・第8講・第10講～第15講・・・グループレッスン 個人に合わせた実技指導 弾き歌いやコード奏のレパートリーで歌唱指導に取り組む。</p> <p>場所;井上・中村・川畑→ML演習室 レッスン室1・2 竹内→レッスン室3・4 東→レッスン室5・6 「歌唱指導6曲」時は井上が担当。場所は音楽室。</p> <p>到達目標;井上・中村グループ・・・試験でバイエル66番が弾けるようになり、コード奏での弾き歌いレパートリー10曲以上ある。(C:必須)</p> <p>到達目標;川畑グループ・・・試験でバイエル96番が弾け、コード奏レパートリーが15曲以上ある。(C: F: 必須)</p> <p>到達目標;竹内グループ・・・試験でアラバスクが弾け、コード奏レパートリーが20曲以上ある。(C: F: G: 必須)</p> <p>到達目標;東グループ・・・試験でソナチネop.36-1が弾け、コード奏レパートリーが24曲以上ある。(C: F: G: D: 必須)</p> <p>※実務教員による授業科目。担当者井上美佳は元中学校教諭であり、その経験を生かして本授業を担当し、受講者は学習成果に掲げる「音楽の基本的な技能を身につけ豊かに表現することができる」を獲得することができる。</p>										
授業内容・計画(井上・中村)		授業内容・計画(川畑)		授業内容・計画(竹内)		授業内容・計画(東)		実施日	出欠	
1	夏課題確認テスト	夏課題確認テスト		夏課題確認テスト		夏課題確認テスト		月 日	出・欠	
2	オリエンテーション(合同・音楽室) 音楽Ⅱの授業形態について・楽典④(音階復習・コードについてC:) 楽器について							月 日	出・欠	
3	コード奏C:11, 12(きらきら星), 14(とんぼのめがね)(こぎつね)	コード奏C:		生活の歌2曲	コード奏C:	歌唱指導6曲		月 日	出・欠	
4	コード奏C:18(思い出のアルバム)21(どんぐりころころ)22(たきび)	コード奏C:		歌唱指導6曲	コード奏C:	歌唱指導6曲		月 日	出・欠	
5	(合同・音楽室)歌唱指導について・楽典⑤(音階復習・コードについて G: F: D:)・合奏について							月 日	出・欠	
6	コード奏C:23(おはようのうた)24(朝のうた)25(おはようのうた)	コード奏C:F:D:		歌唱指導6曲	歌唱指導演習(音楽室)			月 日	出・欠	
7	コード奏C:26(おべんとう)27(さよならのうた)28(おかえりのうた)	歌唱指導演習(音楽室)			コード奏C:F:D:			月 日	出・欠	
8	前半;合奏 後半;コード奏G:31(みずあそび)32(山の音楽家)33(大きな古時計)	前半;合奏 後半;コード奏		(ウインターコンサートに向けて)				月 日	出・欠	
9	前半;合奏 後半;コード奏F:36(チューリップ)37(お正月)38(お片づけ)	前半;合奏 後半;コード奏		(ウインターコンサートに向けて)				月 日	出・欠	
10	前半;合奏 後半;コード奏D:41(めだかの学校)42(こいのぼり)43(とけいのうた)	前半;合奏 後半;コード奏		(ウインターコンサートに向けて)				月 日	出・欠	
11	歌唱指導6曲準備	歌唱指導6曲		コード奏	アラバスク	コード奏	アラバスク	月 日	出・欠	
12	ピアノテキスト17	歌唱指導6曲	コード奏	ピアノテキスト39	コード奏	アラバスク	コード奏	アラバスク	月 日	出・欠
13	ピアノテキスト17	歌唱指導6曲	コード奏	ピアノテキスト39	コード奏	アラバスク	コード奏	ソナチネop.36-1	月 日	出・欠
14	ピアノテキスト17	歌唱指導6曲	コード奏	ピアノテキスト39	コード奏	アラバスク	コード奏	ソナチネop.36-1	月 日	出・欠
15	ピアノテキスト17	歌唱指導6曲	コード奏	ピアノテキスト39	コード奏	アラバスク	コード奏	ソナチネop.36-1	月 日	出・欠
予習・復習【学習時間の目安】				成績評価の方法・基準						
課題を1日20分以上【120分以上/週】				筆記試験(試験60分・解説30分)・・・楽典・楽器理解・歌唱指導法・合奏指導法 50% 実技試験(1人3分程度)・・・ピアノ曲1曲 15% コード奏1曲 35% (課題リストにてフィードバックを行う) 合計100%						
テキスト・参考文献・持参物・検定料等										
<p>(1) 幼稚園教諭・保育士養成課程 子どものための音楽表現技術 (萌文書林)</p> <p>(2) 保育士・幼稚園教諭小学校教諭養成のためのピアノテキスト (カワイ出版)</p> <p>(3) 幼児のための音楽教育 (教育芸術社) その他、個人にあった曲・楽譜を適宜指示します。</p> <p>【持参物】 ファイル4冊(弾き歌い用), 岩国短期大学ピアノ課題リスト</p>										

授業科目名		担当者					
音楽Ⅲ		井上美佳・川畑由紀子・竹内佳代・中村桂子・東尚子					
・授業の概要 ・履修上の注意事項 ・課題、試験についてのフィードバック、振り返りについて							
合同授業(担当 井上) 場所;音楽室 到達目標;歌唱指導法を学び援助方法の技法を学ぶ グループレッスン 個人に合わせた実技指導 歌唱指導のための鍵盤楽器奏法を学ぶ。 場所;井上→音楽室 川畑→ML演習室 中村→レッスン室1・2 竹内→レッスン室3・4 東→レッスン室5・6 到達目標;川畑グループ・・・試験でピアノ曲1曲が弾け、6月7月8月9月の歌唱指導のための弾き歌いレパートリー30曲以上ある。 到達目標;竹内グループ・・・6月7月8月9月の歌唱指導のための弾き歌いレパートリーが25曲以上ある。 到達目標;東グループ・・・6月7月8月9月の歌唱指導のための弾き歌いレパートリーが20曲以上ある。 到達目標;中村グループ・・・6月7月8月9月の歌唱指導のための弾き歌いレパートリーが15曲以上ある。 ※実務教員による授業科目。担当者井上美佳は元中学校教諭であり、その経験を生かして本授業を担当し、受講者は学習成果に掲げる「音楽の基本的な技能を身につけ豊かに表現することができる」を獲得することができる。							
授業内容・計画(井上)		(川畑)	(竹内)	(東)	(中村)	実施日	出欠
1	オリエンテーション・教材製作の目的	課題確認テスト				月 日	出・欠
2	「とんぼのめがね」教材研究	6月の歌唱指導	とんぼのめがね	とんぼのめがね	とんぼのめがね	月 日	出・欠
3	子どもの歌と歴史	6月の歌唱指導	6月の歌唱指導	6月の歌唱指導	6月の歌唱指導	月 日	出・欠
4	わらべうた研究(ジクソー法)	6月の歌唱指導	6月の歌唱指導	6月の歌唱指導	6月の歌唱指導	月 日	出・欠
5	保育現場で求められる楽器で表現する力	7月の歌唱指導	6月の歌唱指導	6月の歌唱指導	6月の歌唱指導	月 日	出・欠
6	「とけいのうた・こぎつね」教材研究	7月の歌唱指導	実習曲	実習曲	実習曲	月 日	出・欠
7	子どもにとっての歌唱の意義とその支援	7月の歌唱指導	実習曲	実習曲	実習曲	月 日	出・欠
8	歌唱指導実践	実習曲	実習曲	実習曲	実習曲	月 日	出・欠
9	実習を振り返って(歌唱活動に関する研究)	8月の歌唱指導	8月の歌唱指導	8月の歌唱指導	8月の歌唱指導	月 日	出・欠
10	「あめふりくまのこ」教材研究	8月の歌唱指導	8月の歌唱指導	8月の歌唱指導	8月の歌唱指導	月 日	出・欠
11	楽器遊びを中心にした音楽活動	ピアノ曲	8月の歌唱指導	8月の歌唱指導	8月の歌唱指導	月 日	出・欠
12	ことば遊びを中心にした音楽活動	ピアノ曲	9月の歌唱指導	9月の歌唱指導	9月の歌唱指導	月 日	出・欠
13	ボディーパーカッション	9月の歌唱指導	9月の歌唱指導	9月の歌唱指導	9月の歌唱指導	月 日	出・欠
14	「おばけなんてないさ」教材研究	9月の歌唱指導	9月の歌唱指導	9月の歌唱指導	9月の歌唱指導	月 日	出・欠
15	保育実習へ向けて(歌唱活動の振り返り)	9月の歌唱指導	9月の歌唱指導	9月の歌唱指導	9月の歌唱指導	月 日	出・欠
予習・復習【学習時間の目安】		成績評価の方法・基準					
課題を1日20分以上【120分以上/週】		教材研究5課題 40% 受講態度 10% 実技試験(1人5分～10分程度)・・・50% (課題リストにてフィードバックを行う) 合計100%					
テキスト・参考文献・持参物・検定料等							
(1) 幼稚園教諭・保育士養成課程 子どものための音楽表現技術 (萌文書林) (2) 保育士・幼稚園教諭小学校教諭養成のためのピアノテキスト (カワイ出版) (3) 幼児のための音楽教育 (教育芸術社) (4) 保育士・幼稚園教諭のための弾き歌い伴奏集 第1巻 第2巻 (Gakken) 【持参物】 ファイル4冊 (弾き歌い用) , 岩国短期大学ピアノ課題リスト							

授業科目名		担当者						
音楽Ⅳ		井上美佳・赤川優子・川畑由紀子・竹内佳代・中村桂子・東尚子						
・授業の概要		・履修上の注意事項		・課題、試験についてのフィードバック、振り返りについて				
<p>合同授業(担当 赤川) 場所;音楽室 到達目標;歌唱法を学び歌唱指導に活かす。 グループレッスン 場所;井上→練習室1~4 川畑→ML演習室 中村→レッスン室1・2 竹内→レッスン室3・4 東→レッスン室5・6 到達目標;井上グループ・・・園行事で弾くピアノ曲1曲が弾け、10月～5月の歌唱指導のための弾き歌いレパートリーが50曲以上ある。 到達目標;川畑グループ・・・10月～5月の歌唱指導のための弾き歌いレパートリーが30曲以上ある。 到達目標;竹内グループ・・・秋～冬の歌唱指導のための弾き歌いレパートリーが25曲以上ある。 到達目標;東グループ・・・秋～冬の歌唱指導のための弾き歌いレパートリーが20曲以上ある。 到達目標;中村グループ・・・秋～冬の歌唱指導のための弾き歌いレパートリーが15曲以上ある。 <u>※実務教員による授業科目。担当者井上美佳は元中学校教諭であり、その経験を生かして本授業を担当し、受講者は学習成果に掲げる「音楽の基本的な技能を身につけ豊かに表現することができる」を獲得することができる。</u></p>								
授業内容・計画(井上)		(赤川)	(川畑)	(竹内)	(東)	(中村)	実施日	出欠
1	10月の歌唱指導	発声のしくみ	10月の歌唱指導 (レパートリー)	10月の歌唱指導 (レパートリー)	10月の歌唱指導 (レパートリー)	10月の歌唱指導 (レパートリー)	月 日	出・欠
2	11月の歌唱指導	身体の解放と呼吸法	10月の歌唱指導 (朝の会)	10月の歌唱指導 (朝の会)	10月の歌唱指導 (朝の会)	10月の歌唱指導 (朝の会)	月 日	出・欠
3	12月の歌唱指導	発声法	10月の歌唱指導 (帰りの会)	10月の歌唱指導 (帰りの会)	10月の歌唱指導 (帰りの会)	10月の歌唱指導 (帰りの会)	月 日	出・欠
4	実習曲	実習に向けて(10月の歌)	実習曲	実習曲	実習曲	実習曲	月 日	出・欠
5	1月の歌唱指導	歌唱表現のための楽譜の読み方	11月の歌唱指導 (レパートリー)	11月の歌唱指導 (レパートリー)	11月の歌唱指導 (レパートリー)	11月の歌唱指導 (レパートリー)	月 日	出・欠
6	2月の歌唱指導	子どもの歌から(秋)	11月の歌唱指導 (朝の会)	11月の歌唱指導 (朝の会)	11月の歌唱指導 (朝の会)	11月の歌唱指導 (朝の会)	月 日	出・欠
7	3月の歌唱指導	子どもの歌から(冬)	11月の歌唱指導 (帰りの会)	11月の歌唱指導 (帰りの会)	11月の歌唱指導 (帰りの会)	11月の歌唱指導 (帰りの会)	月 日	出・欠
8	4月の歌唱指導	ウインターコンサートに向けて	12月の歌唱指導 (レパートリー)	12月の歌唱指導 (レパートリー)	12月の歌唱指導 (レパートリー)	12月の歌唱指導 (レパートリー)	月 日	出・欠
9	5月の歌唱指導	ウインターコンサートに向けて	12月の歌唱指導 (朝の会)	12月の歌唱指導 (朝の会)	12月の歌唱指導 (朝の会)	12月の歌唱指導 (朝の会)	月 日	出・欠
10	行事の歌唱指導(入園)	ウインターコンサートに向けて	12月の歌唱指導 (帰りの会)	12月の歌唱指導 (帰りの会)	12月の歌唱指導 (帰りの会)	12月の歌唱指導 (帰りの会)	月 日	出・欠
11	行事の歌唱指導(夏)	子どもに人気の曲とは?	1月の歌唱指導	1月の歌唱指導	1月の歌唱指導	1月の歌唱指導	月 日	出・欠
12	行事の歌唱指導(秋)	歌唱の意義とその支援	2月の歌唱指導	2月の歌唱指導	2月の歌唱指導	2月の歌唱指導	月 日	出・欠
13	行事の歌唱指導(冬)	卒園式で歌われる曲	3月の歌唱指導	3月の歌唱指導	3月の歌唱指導	3月の歌唱指導	月 日	出・欠
14	行事の歌唱指導(卒園式)	校歌練習	4月の歌唱指導	4月の歌唱指導	4月の歌唱指導	4月の歌唱指導	月 日	出・欠
15	試験に向けて	校歌練習	5月の歌唱指導	5月の歌唱指導	5月の歌唱指導	5月の歌唱指導	月 日	出・欠
予習・復習【学習時間の目安】			成績評価の方法・基準					
課題を1日20分以上【120分以上/週】			カリキュラム構成(歌唱カード合格率) 40% 受講態度 10% 実技試験(1人5分～10分程度)・・・50% (課題リストにてフィードバックを行う) 合計100%					
テキスト・参考文献・持参物・検定料等								
(1) 幼稚園教諭・保育士養成課程 子どものための音楽表現技術 (萌文書林) (2) 保育士・幼稚園教諭小学校教諭養成のためのピアノテキスト (カワイ出版) (3) 幼児のための音楽教育 (教育芸術社) (4) 保育士・幼稚園教諭のための弾き歌い伴奏集 第1巻 第2巻 (Gakken) 【持参物】 ファイル4冊 (弾き歌い用), 岩国短期大学ピアノ課題リスト								

授業科目名		担当者		
現代のマナー		小枝 加代子		
<p>・授業の概要 ・履修上の注意事項 ・課題、試験についてのフィードバック、振り返りについて</p>				
<p>・社会人として必要とされるマナーの基本知識を理解し、実技演習を通して実践力を身につけます。特に社会で必要とされる言葉遣いを中心に感じの良い話し方や電話応対ができるように進めていきます。発表を通して多数の前で話す経験を重ね、人前での話し方の向上を図ります。</p> <p>・社会人として求められる敬語等の習得度をビジネス電話検定A級の合格取得を通して確認します。</p> <p>・学んだことを積極的に日常生活で活かしていくことを望みます。</p> <p>・発表についての振り返り、フィードバック、指導については、各自に行います。筆記試験終了後解答の解説を行います。試験答案の返却については、授業の中で指示します。</p> <p>・課題についてのフィードバックについては、レポート・課題提出・発表後、各自に指導します。</p> <p>・オフィスアワーとして、授業の前後の時間に質問等を受け付けます。</p> <p><u>※実務教員による授業科目。担当者はビジネスマナー・サービスマナー・キャリア開発等を主業務とする人材育成の会社の代表であり、その経験を生かして本授業を担当し、受講者は学習成果に掲げる「社会人として求められるコミュニケーション能力や基本的な礼儀作法」を獲得することができる。</u></p>				
授業内容・計画			実施日	出欠
1	オリエンテーション・立ち居振る舞い(あいさつ・立ち姿・お辞儀等)実技演習	月 日	出・欠	
2	ビジネスマナーの基本	月 日	出・欠	
3	コミュニケーション①言葉遣い・・・正しい敬語を理解する	月 日	出・欠	
4	コミュニケーション②シーンに応じた言葉遣い、社会人として必要とされる話し方を身に付ける	月 日	出・欠	
5	電話応対①電話の基本マナー	月 日	出・欠	
6	電話応対②感じの良い電話の受け方/かけ方	月 日	出・欠	
7	電話応対③感じの良い電話の取次ぎ方	月 日	出・欠	
8	電話応対④ビジネス電話検定	月 日	出・欠	
9	応対のマナー①来客応対の基本(理論)	月 日	出・欠	
10	電話応対⑤ビジネス電話検定解答／実技演習	月 日	出・欠	
11	応対のマナー②来客応対の応用・演習	月 日	出・欠	
12	応対のマナー③茶菓接待のマナー(演習)	月 日	出・欠	
13	交際のマナー①慶事について	月 日	出・欠	
14	交際のマナー②弔事について	月 日	出・欠	
15	交際のマナー③贈答・食事について	月 日	出・欠	
予習・復習【学習時間の目安】		成績評価の方法・基準		
<p>・新聞に目を通す【1時間/週】</p> <p>・立ち居振る舞いを実践する【1時間/週】</p> <p>・敬語表現を日常生活で使う【2時間/週】</p>		<p>レポート・課題提出・発表(各自に指導)30%、授業態度20%、ビジネス電話検定20%、定期試験(試験60分、解説30分)30%、合計100%</p>		
テキスト・参考文献・持参物・検定料等				
<p>【テキスト】『ビジネスマナー基本テキスト』(日本能率協会マネジメントセンター) 『ビジネス電話検定実問題集』(早稲田教育出版) その他、必要に応じてプリントを配付する</p> <p>【検定料】ビジネス電話検定受験料(公益財団法人実務技能検定協会)</p>				

授業科目名		担当者	
家庭支援論		中邑 隆哉	
<p>・授業の概要 ・履修上の注意事項 ・課題、試験についてのフィードバック、振り返りについて</p>			
<p>現在の家族を取り巻く社会環境における家庭生活の変化に伴い、育児の不安感や負担感は以前にも増して大きな課題となっている。保育士には、家庭を形成する夫婦、親子、きょうだいのあり方を理解し、それをふまえて適切な「相談・助言」を行うことが求められている。それぞれの家庭に応じた多様な子育て支援対策を提供するために、どのように保育士が援助活動を行い、関係機関が取り組んでいるかを知る。また近年増加している虐待やDV、発達障がい等で育てにくいと思われる子どもがいる家庭の保護者への対応を学ぶ。保育士の役割は子どもへの「保育」と保護者に対する「保育指導」がある。この授業では、育児の負担感を抱える保護者を対象に、いかに行政や地域がその支援へ手を差し伸べているかを知り、保育者も支援者の一員であることを理解してほしい。</p> <p>課題についての振り返り、フィードバックについては、適宜解説を行う。また、オフィス・アワーとして、授業前後の時間に質問等を受け付けるので、不明な点があれば尋ねてほしい。</p> <p>※実務教員による授業科目。担当者は認定こども園の園長として園の運用と経営にあたり、また地域における子育て支援についても県の社会福祉協議会や幼稚園協会等とも協働しその活動が顕著である。その経験を生かして本授業を担当し、受講者は学習成果に掲げる「保育者としての専門的な知識と技能」を獲得することができる。</p>			
授業内容・計画		実施日	出欠
1	家庭支援とは何か	月 日	出・欠
2	子育て環境の変化子育てと子育て	月 日	出・欠
3	少子社会と家族	月 日	出・欠
4	子育てと子育て	月 日	出・欠
5	子どもと家庭の変容①(園・家庭・地域社会)	月 日	出・欠
6	子どもと家庭の変容②(子どもの生活)	月 日	出・欠
7	国の少子化対策	月 日	出・欠
8	子どもの成長と地域の支援	月 日	出・欠
9	子育て支援の現場	月 日	出・欠
10	子育て支援の基本原則とその展開①(沿革と現状)	月 日	出・欠
11	子育て支援の基本原則とその展開②(子どもの最善の利益のために)	月 日	出・欠
12	こども・家庭支援の現場から「虐待への対応」	月 日	出・欠
13	こども・家庭支援の現場から「DVへの対応」	月 日	出・欠
14	こども・家庭支援の現場から「育てにくさのある子を持つ親への対応」	月 日	出・欠
15	カウンセリング・マインドを活用した相談の在り方	月 日	出・欠
予習・復習【学習時間の目安】		成績評価の方法・基準	
政府が行ってきた少子化対策について事前に学習しておくこと。新聞、育児雑誌などから、育児情報に日頃から関心を持つようにすること。【4時間/週】		定期試験50%、レポート・課題提出30%、授業態度20%、合計100%	
テキスト・参考文献・持参物・検定料等			
<p>【テキスト】 特定の教科書は使用せず、必要な資料を参考文献から引用し配付する。</p> <p>【参考文献】 『家庭支援論』土谷みち子著 青踏社 『子どもが子どもの生活をするために』阿部和子著 萌文書院 『児童の福祉を支える「家庭支援論」』吉田真理著 萌文書院</p>			

授業科目名		担当者	
社会的養護 I		上栗 明男	
<p>・授業の概要 ・履修上の注意事項 ・課題、試験についてのフィードバック、振り返りについて</p>			
<p>児童養護における家庭養育と社会的養護の関係および役割を理解しながら、養護問題の現状と児童福祉施設の実践について理解する。殊に児童福祉施設が持つ「集団生活の利点」についての積極的意義についても、実践例から学ぶ。課題についての振り返り、フィードバックについては、レポート作成後、解説を行う。</p> <p>なお、オフィス・アワーとして、授業前後の時間に質問等を受け付けるので、積極的に質問してみよう。</p> <p>課題、試験についてのフィードバックは、レポート作成後、解説を行います。</p> <p>※実務教員による授業科目。担当者は社会福祉士の資格を有し、児童養護施設・児童心理治療施設の施設長として運営にあたり、その経験を生かして本授業を担当し、受講者は学習成果に掲げる「保育者としての専門的な知識と技能」を獲得することができる。</p>			
授業内容・計画		実施日	出欠
1	入所施設児童からの訴え(作文集『続・泣くものか』)	月 日	出・欠
2	施設養護とは	月 日	出・欠
3	現代社会と児童	月 日	出・欠
4	映画「石井のおとうさんありがとう」(前編)	月 日	出・欠
5	映画「石井のおとうさんありがとう」(後編)	月 日	出・欠
6	我が国の施設養護の歴史～近代児童福祉の礎を築いた人々～	月 日	出・欠
7	個別化の原理・社会化の原理	月 日	出・欠
8	家族関係調整の原理・社会復帰の原理	月 日	出・欠
9	集団力学活用の原理	月 日	出・欠
10	子ども虐待と養育困難家庭	月 日	出・欠
11	施設養護の援助内容	月 日	出・欠
12	具体的日常処遇の基本	月 日	出・欠
13	望ましい保育者像	月 日	出・欠
14	職員の資質・レポート設題と参考レポートの紹介	月 日	出・欠
15	レポート作成とフィードバック	月 日	出・欠
予習・復習【学習時間の目安】		成績評価の方法・基準	
「児童虐待事案」「法改正」等の新聞・テレビ報道に関心を持っておくこと。【4時間/週】		レポート(レポート作成40分・解説50分)90%、授業への積極的参加状況10%、合計100%	
テキスト・参考文献・持参物・検定料等			
【テキスト】 櫻井慶一編著『社会的養護』北大路書房			

授業科目名		担当者		
乳児保育Ⅱ		出崎 千鶴子		
<p>・授業の概要 ・履修上の注意事項 ・課題、試験についてのフィードバック、振り返りについて</p>				
<p>・2歳児の生活とあそびについて学びながら、心身の育ちの筋道とその特徴を理解する。さらに保育者として乳児との生活を作り上げていくために必要な知識と技術を学ぶ。</p> <p>・保育所実習の体験を生かして、どんな保育をしたのか、どんな保育者になりたいのかを主体的・具体的にイメージする。</p> <p>・課題についての振り返り、フィードバックについては、レポート提出・小テスト終了後に説明を行います。また、オフィスアワーとして授業前後の時間に質問等を受け付けます。</p> <p>※実務教員による授業科目。担当者は、公立の保育園園長として長年勤務し、退職後も社会福祉法人の経営する保育園の園長を務めている。その間、市の保育カリキュラムの作成、子育て中の保護者を対象とした講演会等を行い、乳児保育に関する業績は顕著である。その経験を生かして本授業を担当し、受講者は学習成果に掲げる「保育者としての専門的な知識と技能」を獲得することができる。</p>				
授業内容・計画			実施日	出欠
1	2歳児の発達と生活・あそび	月 日	出・欠	
2	2歳児の基本的生活	月 日	出・欠	
3	2歳児の意欲の発達	月 日	出・欠	
4	2歳児の認識とことばの育ち	月 日	出・欠	
5	2歳児のあそび	月 日	出・欠	
6	2歳児の他者との関係	月 日	出・欠	
7	乳児保育における保育者の役割	月 日	出・欠	
8	乳児の生活 健康・安全 疾病 感染症等に関する対応	月 日	出・欠	
9	乳児の生活 健康・安全 事故の予防に関する対応	月 日	出・欠	
10	特別な配慮を必要とする子どもの対応(病気がち、投薬が必要、アレルギー、障がい、虐待等)	月 日	出・欠	
11	乳児が生活する環境の問題	月 日	出・欠	
12	保育計画・評価について	月 日	出・欠	
13	保育者・保護者とのいい関係づくり	月 日	出・欠	
14	実践例にみる援助の実際	月 日	出・欠	
15	まとめ	月 日	出・欠	
予習・復習【学習時間の目安】		成績評価の方法・基準		
子どもに関わる新聞記事を読んで集団で意見交換する【30分～1時間/週】 玩具店、公園などでおもちゃや遊具について安全的視点で観察研究をする【30分～1時間/週】		課題に対するレポート・小テスト40%、受講態度40%、実技20%、合計100%		
テキスト・参考文献・持参物・検定料等				
<p>【テキスト】 ちいさななかま社発行『乳児期の発達と生活・あそび』ひとなる書房発売 その他プリント</p> <p>【参考文献】 『乳児の保育新時代』乳児保育研究会編ひとなる書房発行</p> <p>【持参物】 指定したもの</p>				

授業科目名		担当者	
障害児保育		竹内 吉和	
<p>・授業の概要 ・履修上の注意事項 ・課題、試験についてのフィードバック、振り返りについて</p>			
<p>・本授業では、障害のある子どもの保育・教育について現場の実情に鑑みて実践的かつ具体的に解説していく。授業は次の3つのポイントに基づいて構成する。第一に幼稚園・保育所等の保育現場でニーズが高まっている発達障害について解説する。乳幼児の特徴を児童期青年期及び成人してからも視野に置き生涯の中で理解できるようにする。さらに、保護者への対応や関係機関との連携についても解説する。第二に障害のある子どもを担任した場合の個別の指導計画、個別の教育支援計画の作成や統合保育における指導計画を実際に立案・作成できるように演習を行う。第三に障害種別にその障害について乳幼児期の特徴を解説する。そして個別の支援の方法と集団保育の中での保育者としての配慮事項と実践的な対応方法について解説する。</p> <p>・履修上の注意事項として、ノート1冊用意して、授業で配布したプリント等の資料はノートに貼ったり授業の重要事項を書きとったりしてすることを求めたい。授業は、多数の映像資料、音声資料を活用するがその時その時に感じたことを書き留めることで授業の振り返りに役立つものと思われるからである。</p> <p>・課題についての振り返り、フィードバックについては、筆記試験終了後、解答の解説を行う。試験答案の返却については、授業の中で指示する。また提出されたレポートを返却し、そこから押さえるべき重要な論点等を具体的に解説する。</p> <p>※実務教員による授業科目。担当者は教育委員会特別支援教育担当指導主事として勤務後、特別支援学校等で発達障害児支援の専門家としての業務を遂行していた。その後、竹内発達支援コーポレーションを設立して地域支援事業を展開しており、その経験を生かして本授業を担当し、受講者は学習成果に掲げる「保育者としての専門的な知識と技能」を獲得することができる。</p>			
授業内容・計画		実施日	出欠
1	障害の概念と特別支援教育の現状	月 日	出・欠
2	自閉症スペクトラム症の理解と支援	月 日	出・欠
3	注意欠如・多動症の理解と支援	月 日	出・欠
4	限局性学習障害の理解と支援	月 日	出・欠
5	視覚障害・肢体不自由の理解と支援	月 日	出・欠
6	聴覚障害・言語障害の理解と支援	月 日	出・欠
7	知的発達症の理解と支援	月 日	出・欠
8	重症心身障害の理解と支援及び医療的ケア	月 日	出・欠
9	虐待を受けた子どもの理解と支援	月 日	出・欠
10	日本語指導が必要な子どもの理解と支援	月 日	出・欠
11	障害のある子どもの保育の実際	月 日	出・欠
12	障害のある子どもの支援計画	月 日	出・欠
13	保護者や地域の関係機関等との連携	月 日	出・欠
14	障害のある子どもの保育・教育の現状と課題	月 日	出・欠
15	事例演習	月 日	出・欠
予習・復習【学習時間の目安】		成績評価の方法・基準	
<p>・予習として授業で指定する範囲の教科書を事前に読む。【2時間／週】</p> <p>・指定する参考文献を図書館等で読む。【2時間／週】</p>		<p>筆記試験(試験60分・解説30分) 40%</p> <p>レポート・課題(提出後、解説30分) 40%</p> <p>授業態度20% 合計100%</p>	
テキスト・参考文献・持参物・検定料等			
<p>【テキスト】 武藤久枝・小川英彦編著『コンパス 障害児の保育・教育』建帛社</p> <p>【参考文献】 竹内吉和著『実践 発達障害を乗り越える 自分らしさを見つけて育むワークノート』幻冬舎ルネサンス</p> <p>竹内吉和著『発達障害が少年犯罪の原因ではなかった』ザメディアジョン</p> <p>【持参物】 筆記用具、A4大学ノート1冊</p>			